

池田市公共施設再整備事業計画（案）に関する市民説明会 議事録

【開催日時】 令和7年12月20日（土） 10時～11時

【開催場所】 井口堂北会館

【参加人数】 39人

【内 容】

1. 開会

- ・事務局より開会のあいさつ、事務局職員の紹介、配布資料の確認

2. 資料説明

3. 質疑応答（要旨）

- ・計画期間が2061年までの理由を教えてください。

→上位計画である「池田市公共施設等総合管理計画」の計画期間に合わせて2061年までと
しています。

- ・目標である施設総量30%以上削減を達成するには、学校施設にも手を加えないと不可
能だと思いますが、どのようにお考えですか。

→ご指摘のとおり、学校施設の面積割合は大きく、目標達成には学校施設にも手を加えて
いく必要があると認識しています。目標には学校施設も含んでいるのですが、学校施設
の整備方針については他部署において、今後の学校の在り方を含めた計画を作成中であ
り、そちらの計画とも連携を図りながら検討を進めてまいります。

- ・保育所や幼稚園など今までに手放してきた市の施設がありますが、手放したその後の所
感を教えてください。また、旧細河小学校や旧伏尾台小学校は建物が残っていますが、
今後どのようにになりますか。

→施設の老朽化が進むなか、今ある施設を全て維持していくことは困難であり、財政状況
やニーズ、建物の状態などを踏まえ、手放すことも含めて再整備を進めてきました。今
後につきましても、持続可能な市政運営を継続するには、これまで以上に削減は必要で
あると考えておりますが、単に削減するのではなく、利便性の向上や賑わいの創出に質
する再整備が必要であり、本計画を作成するに至りました。旧細河小学校などは今後の
検討となります。

- ・目標設定のための試算について、具体的な試算内容は計画などに載っていますか。
→試算については、結果のみを計画に載せています。市ホームページに10年後までの市の財政推計を掲載しており、目標設定の試算にあたってはその数値も引用しています。
- ・鉢塚会館と才尊会館を利用するが多く、事業予定が令和10年からとなっていますが、それまでに建物の不具合があった場合は修繕などを行うのですか。
→事業期間はあくまで現時点の想定になるのですが、それまでに不具合が発生した場合、運営に支障をきたすような不具合でしたら早急に対応する必要があると考えており、その時の状況を踏まえて判断してまいります。
- ・多世代交流施設の建設予定地ですが、敬老会館の解体が終わった2月ごろから更地の状態が続いている。この状態が続いている理由を教えてください。
→入札不調により想定していた予定が遅れているところです。先日、入札により請負業者が選定され、12月議会で業者承認がされる予定です。その後、1月に工事説明会を予定しており、2月～3月頃に着工する見込みです。
- ・水月児童文化センターと五月山児童文化センターについて、複合化するけれども、それぞれの拠点を維持するという意味をご説明ください。
→それぞれの地域において児童文化センターの機能は必要と考えており、水月児童文化センターと五月山児童文化センターを1つに集約するのではなく、それぞれを他の施設と複合化することを検討していくという意味です。周辺施設との複合化により、総面積の縮小を図り、それぞれのエリアで機能を維持していきたいと考えています。
- ・児童文化センターと複合化させる施設の候補はありますか。
→どの場所にどの施設と複合化するのかについては、今後の検討となります。
- ・市民文化会館の大規模改修を行い、カルチャープラザと統合して、カルチャープラザは廃止となることは決定事項ですか。カルチャープラザの駐車場も廃止となりますか。
→基本的には計画の方針に沿って事業を進めていくことになりますが、実際に廃止となると条例廃止の議会承認が必要になり、承認されて初めて決定となります。現在は市民文化会館の大規模改修をどのようにしていくのかを検討しているところです。駐車場は未定ですが、市民文化会館の駐車場が足りないという問題があれば市民文化会館の駐車場として利用するなど、有効活用を考えていきます。
- ・多世代交流施設について、どのような建物になるのかの説明会が以前にあったのですが、その内容は今回でリセットされているのかどうか教えてください。

→リセットではなく、説明会での内容の設計が完了し、施工業者の入札までが済んでおります。事業が進んでいる状態ですが、短期の計画期間に該当しているため、計画に掲載させていただいています。

- ・避難所として旭丘会館は90名、花園会館は80名程の収容人数であると資料で見たことがあるのですが、この数値は対象エリアから人数を想定して決めているのですか。多世代交流施設であれば、どこまでのエリアを想定して避難所としているのか教えてください。

→収容人数は建物の面積に応じて設定しています。会館は指定緊急避難場所であり、緊急時に一時的に避難していただくことを想定しています。近くの指定緊急避難場所が定員を超える場合には、市として別の場所を用意するなどの対応は必要であると考えております。また、長期の避難が必要であれば指定避難所である小学校に滞在していただくことになります。

- ・以前にも共同利用施設を再編する計画がありましたが、住民の反対により実現されませんでした。今回も同じことにならないか心配しております、市がこの計画で進めていくという強い意志を持って進めないと実現されないと思います。

→丁寧に説明し、ご理解をいただきながら進めていく必要があると考えております。建物の老朽化や厳しい財政状況への対策として、再整備は必要なことありますが、ただ量を減らすのではなく、利便性の向上や賑わい創出、新たなニーズへの対応も目指していきたいと考えております。

- ・昨今の自然災害の増加に伴い、消防車や救急車を増台することが必要ではないでしょうか。また、消防署庁舎の移転先は決まっているのか教えてください。

→救急車は増台し、救急職員の増員も行ってまいりました。消防車両につきましては、他市と比較しても、必要な車両は備わっていると考えております。消防署庁舎の移転先はまだ決定しておりませんが、整備基本構想を策定しており、そのなかで数か所の候補地を挙げております。

- ・パブリックコメントにつきまして、市ホームページ以外からも計画案を閲覧することはできますか。

→市役所2階の情報公開コーナーと公共建築課の窓口にて、計画案と意見記入用紙を設置しております。意見の提出方法は、メール、ファックス、郵送、窓口へのご持参などがございます。

- ・やまと学園の移転先は多世代交流施設の北側になると聞きましたが、その予定なので

しょうか。

→多世代交流施設の北側を移転候補地として検討を進めているところです。

- ・説明会資料に載っていない会館は維持していくことでしょうか。

→今回の説明は計画の要点を抜粋しており、短期で再整備を予定している施設についてご説明させていただきました。中期、長期に再整備を予定している施設につきましては、再整備の予定時期までを計画に掲載しております。それら施設の具体的な再整備方針は、今後の計画の見直しの際に、その時の状況などを踏まえて設定してまいります。

- ・本計画の策定には何名ぐらいの職員が従事していますか。

→本日の説明会に参加しております総合政策部公共建築課が担当部署であり、その職員が従事しております。計画の策定にあたっては、我々だけでは判断できない事項も多くありますので、関係部署と連携を図りながら全序的に進めてきたところです。

- ・多世代交流施設についての問合せ先はどちらですか。

→施設の運営や管理に関するることは総務部高齢・福祉総務課にお問い合わせください。工事に関することは公共建築課にお問い合わせください。

- ・多世代交流施設の工事にあたっては、周辺の道路は狭く、子ども達も多いため、工事車両の通行には気をつけていただきたいと思います。また、工事説明会の開催を知らない方が多いため、周知をしっかりと行つていただけると嬉しいです。坂を自転車で下っていく学生も多いので、周辺の高校へも工事の周知をしていただきたいです。

→安全に留意しながら工事を進めてまいります。工事説明会の周知につきましては担当部署とも調整しながら周知に努めてまいります。

- ・例えば、文化会館駐車場の有料化や、会館利用料の値上げなど、適切な利用料の設定によって歳入を増やし、施設の維持管理費などに充てることや、民間事業者の力を借りることも必要だと思います。

→ご指摘のとおり、適切な受益者負担により維持管理費などを賄うことは必要であると認識しております、いただいたご意見を踏まえながら検討してまいりたいと思います。

4. 閉会

池田市公共施設再整備事業計画（案）に関する市民説明会 議事録

【開催日時】 令和7年12月21日（土） 10時～11時

【開催場所】 細河コミュニティセンター

【参加人数】 6人

【内 容】

1. 開会

- ・事務局より開会のあいさつ、事務局職員の紹介、配布資料の確認

2. 資料説明

3. 質疑応答（要旨）

- ・細河コミュニティセンターの廃止について、どのような経緯で廃止となるのかを教えてください。代替施設は旧細河小学校の学習室と聞いていますが、ふらっとイケダ（人権文化交流センター）のほうが適していると思います。

→市が土地を賃借しており、契約期間満了に伴い、土地を返還しコミュニティセンターを廃止するものです。代替施設として旧細河小学校の学習室を利用することで調整を進めていますが、他の施設の利用についても検討材料であると考えております。

- ・古江保育園を建て替えるという話を聞きましたが、現状の予定を教えてください。

→現時点では、短期で建て替えるのではなく、長寿命化を図りながら使用していくことを想定しております。

- ・古江保育園は老朽化が進んでおり、改修を望む声を聞くので対応していただきたい。

→適切に管理しつつ、特に施設の運営に関わるような不具合が発生した際には随時対応してまいります。

- ・ハザードマップによると、防災備蓄倉庫や旧細河小学校は土砂災害の危険がある場所と書かれており、そこを避難所や備蓄倉庫を建設して大丈夫なのでしょうか。旧細河小学校が土砂災害で危険な場所なので、ほそごう学園として統合されたと聞いたことがあります。

→土砂災害危険区域（イエローゾーン）ではありますが、土砂災害特別警戒区域（レッド

ゾーン）ではないため建設が可能な場所であります。学校の統合については、土砂災害の危険性だけではなく、教育の観点や児童数の減少など総合的な判断によるものです。

- ・近年、気候変動により災害規模が大きくなっていますが、安心して避難できるように災害時の備蓄品は十分に蓄えられているのでしょうか。

→テントやパーテーションなどの備蓄品を毎年增量しているところです。食料についても市で備蓄しており、他の自治体からの支援体制も整えております。

- ・説明会の周知はどのようにされたのか教えてください。お年寄りのなかには市ホームページを見る事ができない方もいらっしゃると思いますので、青色防犯パトロール車を使って周知を行うなど、広く周知する方法を検討していただきたいです。

→市ホームページおよび広報誌にて案内を掲載し、各地域コミュニティ推進協議会様へ案内を送付させていただきました。周知の方法につきましては今後検討させていただきます。

- ・細河地域は公園や駐車場が少なく、人が集まることができる場所が少ないと感じています。市街化調整区域という課題はありますが土地は多いので、細河地域に公共施設を移転させて人を呼び込むことも検討してみてください。

→細河地域の活性化は重要な課題のひとつであると認識しております。市街化調整区域であるため、自由に建築ができない地域ではありますが、そのなかで可能な施策を検討してまいりたいと思います。

- ・人口や税収が減少するから施設も減らしていくという負のスパイラルから脱却するため、どうすれば人口や歳入が増えるのかを考える必要があります。先ほど話題にあがりました細河保育園であれば、きれいに建て替えたり、園庭に細河地域らしい芝生を植えて遊べるようにしたり、通いたいと思えるような魅力ある園の整備により、人口増加へ繋げていただきたいと思います。また、細河地域には多くの土地がありますので、企業誘致など人が集まる施策も考えていただきたいと思います。池田の魅力を活かした取組を期待しています。

- ・人口減少や少子高齢化に手をこまねくのではなく、魅力ある施策によって池田市に住みたいと思えるようなまちになっていけば良いなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4. 閉会

池田市公共施設再整備事業計画（案）に関する市民説明会 議事録

【開催日時】 令和7年12月22日（月） 19時～20時

【開催場所】 池田市役所 7階大会議室

【参加人数】 21人

【内 容】

1. 開会

- ・事務局より開会のあいさつ、事務局職員の紹介、配布資料の確認

2. 資料説明

3. 質疑応答（要旨）

- ・2階に集会室があるのにエレベーターがない共同利用施設が多く、不便だと感じています。施設が新築される際には、この問題は解消されるのでしょうか。また、既存の施設については対応されるのでしょうか。

→新築の際にはバリアフリー法などに基づき、皆さんにとって使いやすい設計を行ってまいります。既存施設につきましては、要望があることは理解しておりますが、施設の構造や法規制、費用の面などから総合的に判断することになります。

- ・会館の調理室を利用するが多く、新しい会館にも調理室が欲しいなどの要望を伝えたり、設計の内容を聞ける機会はありますか。

→行政だけで内容を決めるのではなく、地域の方々のご意見を聞くことが必要であると認識しておりますので、具体的に事業を進める段階になりましたら、担当部局と連携して説明会などを開催したいと考えております。

- ・人口減少とありますが、池田市の人口はこの数十年間、10万人程度で横ばいであり、減少していないのでしょうか。

→10万人程度を維持してきておりますが、計画期間の約40年先を見据えると人口減少が予想されます。

- ・施設が具体的にどうなっていくのを教えていただきたいです。

→今回は短期の期間について、どのような方針で再整備を考えているのかまでをお示しさ

せていただきました。今は計画段階であり、具体的に事業を進める段階になりましたら地域の方々のご意見を聞くなどしながら、どのような施設にしていくのかを決定してまいります。

- ・学校施設やインフラ施設は本計画に含まれないということですが、その理由を教えてください。

→目標の設定にあたっての財政推計の試算には、学校施設やインフラ施設に掛かる費用も考慮しており、削減目標の対象にも含んでおります。ただし、道路や上下水道のインフラ施設はその性質から、削減することは難しいと考えており、学校施設については規模が大きく影響も大きいことや、教育施策と深く関係することなどから、教育委員会と連携を図りながら別の計画において方針を定めているところです。

- ・池田市は人口10万人を維持されてきていますが、公共施設が減ることでサービスの質が低下し、人口が流出していくのではないかと危惧しています。

→施設を削減することでサービスの質が低下しないようにしなければならないと考えております。単に削減だけではなく、新たなニーズへの対応、利便性の向上、賑わいの創出にも配慮した再整備を目指してまいります。

- ・公共施設を整備するのに、国の補助金などを活用する必要があると思います。

→ご指摘のとおり、国の補助金の活用なども検討しながら財源の確保に努めてまいります。

- ・多世代交流施設には敬老会館の機能が集約されますが、整備前の敬老会館よりも面積が小さくなる予定になっています。高齢化が進み、敬老会館のニーズは高まっていると思いますが、なぜでしょうか。

→敬老会館の敷地は第1種低層住居専用地域であり、敬老会館の用途の面積が制限される地域になります。建築当時から法律が改正されており、現在ではこの制限の中で計画しなければなりません。多世代交流施設はできる範囲でニーズを反映させた計画となっておりますので、完成しましたらぜひご利用していただけたらと思います。

- ・池田市は市域の南側に人口や住宅が集中しており、北側の細河地域は市街化調整区域ですが、空いた土地が多くあります。個々の施設ごとに見るのでなく、都市計画や市の施策全体を通じて効率的に施設を配置していく必要があると思います。

→市全体についてのお話ですが、本市では総合計画という市全体のまちづくりに関する基本的な目標や必要となる施策などを定めた計画があり、その中でご指摘の土地利用の方針や賑わいの創出の方針を記しています。それらの方針を基に、各部署が事業を実施していくのですが、それには財源の確保が必要となりますので、公共施設の再整備は

財源確保の施策の一つとなります。加えて、皆さんにより使っていただけるような施設整備を目指して、再整備事業計画を策定しようとしているところです。

・栄本町の旧コミュニティセンターは、跡地活用についてのワークショップを開催していくなど、市民が参加して意見を言える機会がありました。計画を進めていくなかで、そのような機会はパブリックコメント以外にも予定されていますか。

→具体的に事業を進める段階になりましたら、地域のご意見を伺いながら再整備を進めていく予定です。

・中期、長期に再整備を予定している施設は、再整備までに何か手を加えるのでしょうか。

→再整備の時期まで施設を維持していくために、財政状況を踏まえながら修繕工事や耐震診断などを実施していく予定です。

・秦野会館は廃止されるということでしょうか。廃止される場合、代替施設はありますか。

→共同利用施設としての秦野会館は廃止となる予定ですが、秦野住宅の建替を検討しており、秦野住宅の中に集会所を設けるなど、秦野会館が担っていた機能は残す予定で検討しているところです。

・以前に秦野住宅の建替についての説明会がありましたが、それ以降の進捗はありますか。

建替に伴って、秦野会館がどれくらいの期間で利用できなくなるのかなどの説明会をまた開催していただきたいです。

→担当部署で建替に向けて検討を進めているところで、詳細が決まり次第、説明会などを開催させていただくことになると思います。

・パブリックコメントの期間が年末年始で短いと思います。パブリックコメントのことを知らない人や地元に周知するにも時間が短いです。

→広報誌や市ホームページにてパブリックコメントの周知をさせていただきましたが、周知の方法を含め、実施時期、実施期間について今後の検討材料とさせていただきます。

・この計画は都市計画法の都市計画決定のような法に基づく決定事項なのか、それとも、現時点の方針に対して意見を聞いていくものなのかを教えてください。

→法に基づくものではありません。計画において、どのように再整備を進めていくのかの方針を示させていただきましたが最終決定ではなく、今後、再整備に向けて調整を行いながら進めていくものです。

・資料に「地域による施設の偏りを解消し、適正な配置を検討」とありますが、例えば共

同利用施設であれば、小学校区によって施設数が違うので、公平に同じ施設数に揃えていくというようなことですか。

→共同利用施設につきましては、校区ごとに数を揃えるということも検討しましたが、将来的に校区が変わる可能性もあり、もう少し小さい範囲で見て、機能を維持しつつ順番に、計画の見直しも行いながら再整備を進めていきたいと考えております。

・共同利用施設は地域の身近な施設であり、人と人の繋がりや絆が作れる大切な施設です。

防災の観点からも人の繋がりは重要ですが、そのことも考慮されているのでしょうか。

→共同利用施設は地域に根ざした施設であり、防災や地域活動において重要な施設であると認識しております。再整備にあたっては、その地域のニーズに合った施設を整備していきたいと考えております。

4. 閉会